

大豊町を「助けてください」！

大豊町は本気で「貴方の力」を必要としています

高知県長岡郡大豊町です

大豊町は人口約 4,300 人と、高知県内でも小さな町です。過疎高齢化が進む中、担い手対策の取り組みが急務として若い力を求めています。主な産業は農業・林業・土木業と一次産業が中心の中山間地になります。このような土地柄ですので、就農を希望する方々への期待は他の市町村には負けません。これからの大豊の町づくりを一緒に始めていきましょう！



「(株) 大豊ゆとりファーム」

次のような方を求めています

- ・年齢40才以下で大豊町に居住し就農できる方
- ・地域の担い手として、地域活動に参加できる方
- ・農業経験者または研修により基礎を習得されている方
- ・「高知県立農業担い手育成センター」(四万十町)で1年程度の研修ができる方(農業未経験者)

※「大豊町担い手育成総合支援協議会」による面接選考を行います。ご了承ください。

- ・四万十町や大豊町での研修中、また就農当初の生活費、初期経費として300万円程度は必要です！

独自の就農支援体制を整えています

《町の研修施設「山村農業実践センター」での研修》

農業は地域性の大きい産業です。大豊町の気候や風習、土地条件などをよく知ってもらい、就農がスムーズにできるよう、裏面に示した品目で1年間実践的な研修を予定しています。指導は「(株)大豊ゆとりファーム」(第3セクター)が担当します。

《経済的支援》

国・県・町の支援制度を活用し、研修中の費用等を最長2年間、年間180万円を支給します。ただし、受給には要件があり、助成を受けられない場合があります。また、研修終了後1年以内に就農しなかった場合には全額返還していただきます。

《就農支援》

研修終了後は大豊町内で就農となります。農地は「大豊ゆとりファーム」が管理委託された農地を紹介します。園芸用ハウスは県や町の事業を活用し、自己負担を少なくして建設できます。住居は大豊町が移住者用住宅を整備予定です。ご希望に添えなかった場合は、ご自分で探していただくことになります。

大豊町の推奨品目（研修施設で栽培を予定している品目）

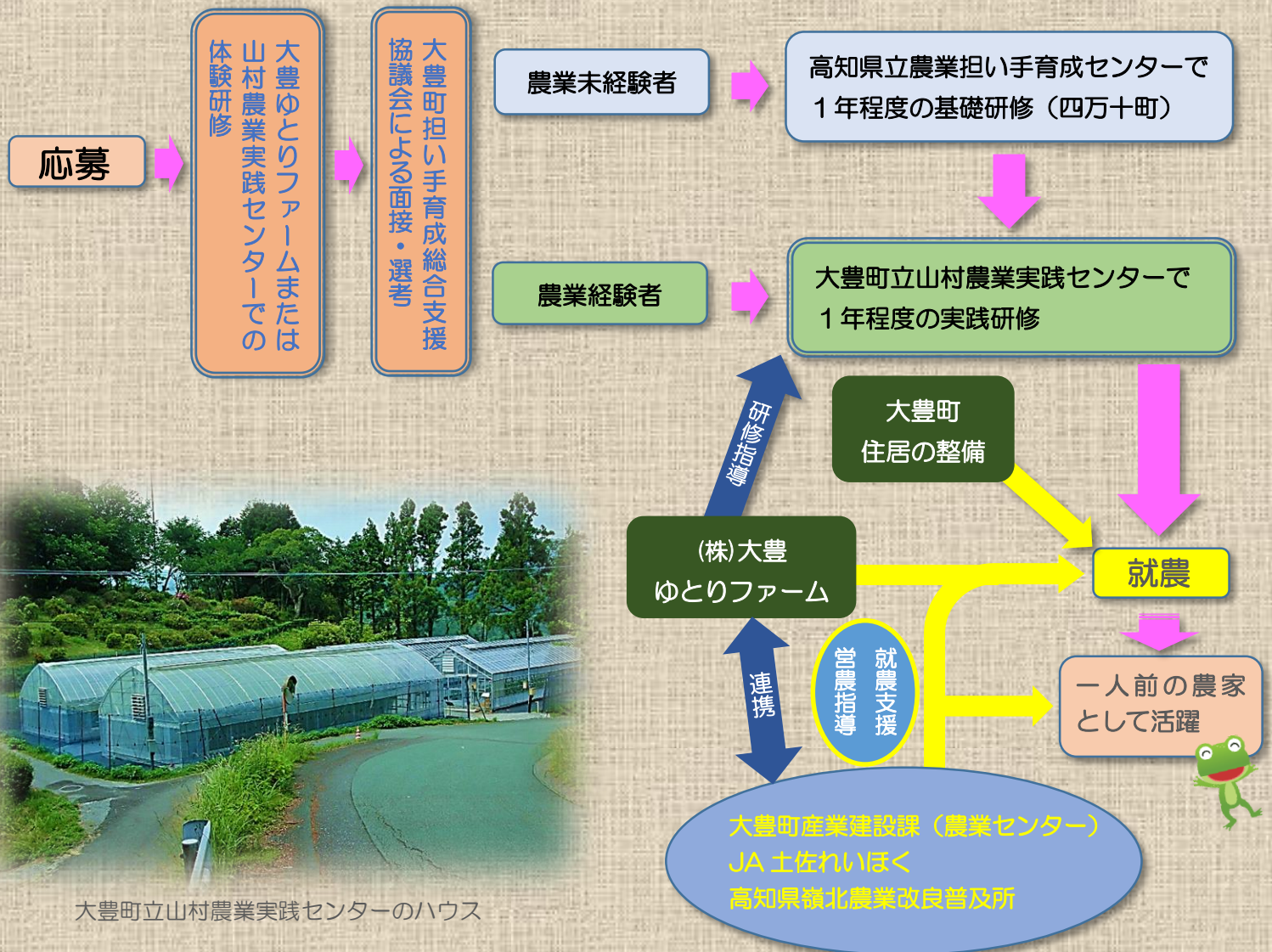
ミニトマト：品種‘アイコ’ラグビー型で糖度が高く、栽培が容易
 三色ピーマン：嶺北地域を代表する作物。「赤・オレンジ・黄色」の三色を同時栽培する
 ショウガ：露地品目で、比較的他の品目と組合せ易い
 ホウレンソウ：冬作として、トマトやピーマンの合間に栽培
 その他：今後も有望作物を積極的に取り入れていきます

例①：ミニトマト5a＋ショウガ18a＋冬作ホウレンソウ5a＝所得250万円

例②：三色ピーマン10a＋ショウガ20a＝所得260万円

* 気象条件等により、収量や販売単価は変動があります。上記は目標とする数値です。
 * 希望に応じた体験研修も可能です（期間・内容等）。

就農までの流れ



大豊町立山村農業実践センターのハウス

募集主体及び募集期間などについて

- ・募集主体：大豊町産業建設課
- ・募集期間と募集人員：毎年4～1月（随時対応）、定員6名
ただし定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・研修開始：平成28年4月を予定しています。
- ・ご家族で居住を検討されている場合、別途相談に応じます。

問い合わせ先

○大豊町産業建設課（農業センター）
 ○長岡郡大豊町黒石 343 番地 1
 電話：0887-73-0978
 ファックス：0887-73-1004
 e-mai：a-mino@town.otoyo.lg.jp